

# こまちダム試験湛水開始！

6月14日、完成したダム堤体の安全性を確認するための試験湛水が始める湛水式が、こまちダム建設現場で行われました。

湛水式には、町・議会・地元関係者の方々が出席し、福島県土木部河川港湾領域総括参事の湛水宣言に続き、穴戸町長、県中建設事務所長、施工業者の代表がゲート閉塞スイッチを押し、ダムの貯水が開始されました。

また、小野赤沼行政区域長、菅蒲谷行政区域長、雁股田行政区域長、こまちダム地権者会長がくす玉を割り、最後に大和田議長の音頭により万歳三唱が行われ、試験湛水の開始を祝いました。

貯水は、河川の利用や管理に必要な維持流量を放流しながら、本年12月に最高水位に到達する予定で、その後は逆に水位を低下させ、ダム堤体や管理設備等の安全確認を行います。



完成したダム堤体



くす玉を割る関係者



ゲート閉塞スイッチ

## こまちダム建設促進協議会総会開催

6月1日、小野町多目的研修集会施設において、「こまちダム建設促進協議会」の総会を開催しました。

総会では、町長のあいさつに続き、県中建設事務所ダム建設部長より「ダム本体工事は、平成19年4月の運用開始を目標に順調に工事の進捗が図られております。こまちダムの完成により『安全・安心』な地域づくりはもとより、新たに創出される水辺空間は、町の周辺整備基本方針の中にも位置づけられていることが

ら、県としても』とにも考え、ともにつくり、ともに育む』の実践を図った周辺整備を行っていききたい。」とあいさつがありました。

議事では、平成17年度事業経過報告並びに収支決算報告があり、平成18年度事業計画並びに収支予算とともに承認されました。

最後に、県中建設事務所ダム建設グループより、ダムの試験湛水や管理棟周辺整備等の建設事業概要説明が行われました。

## こまちダム地権者会総会開催

6月7日、雁股田地域活性化拠点施設において、こまちダム地権者会の総会が開催されました。

総会では、小野博康会長より「こまちダム建設事業も最後の年を迎えるようになりました。本総会でみなさんからご意見をいただき、よりよいこまちダムとしたい。」とあいさつがありました。

議事では、平成17年度事業報告並びに収支決算報告、平成18年度事業計画並びに収支予算の説明が行われ、原案のとおり承認及び可決されました。

最後に、県中建設事務所ダム建設グループより、平成19年度供用開始に向けての今年度事業計画の説明が行われました。

